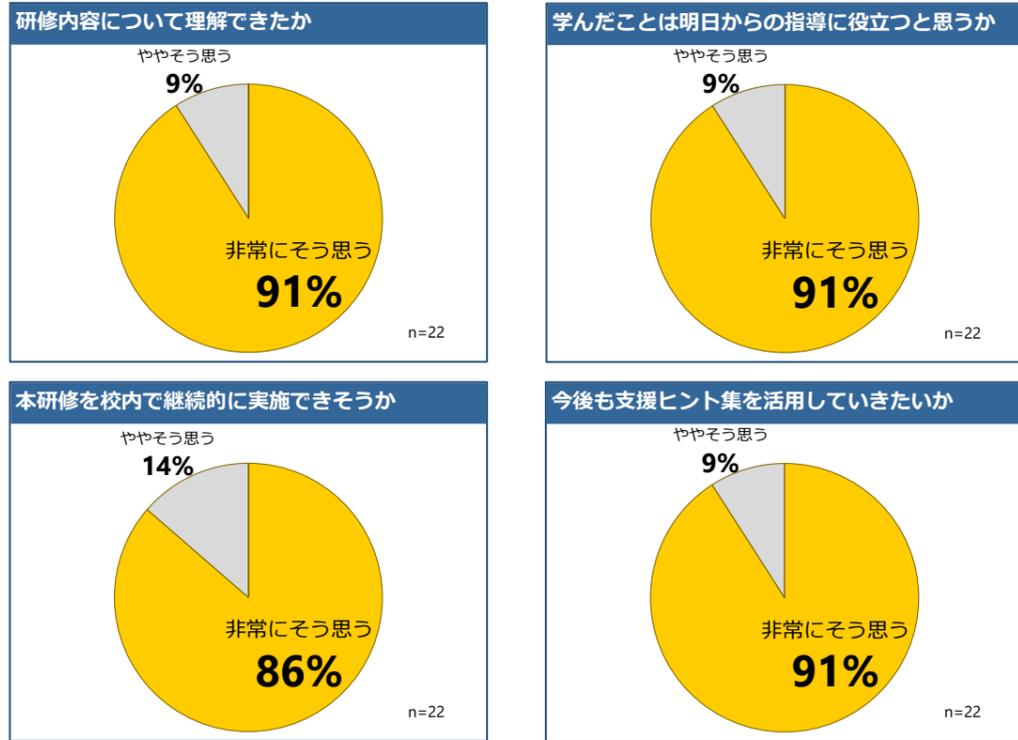


校内研修モデルの検証結果

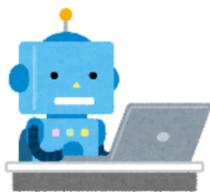
検証活動として、校内研修等講師派遣事業で、本校内研修モデルを使って演習・協議を行い、終了後、受講者にアンケートを行いました。ここでは、中学校2校での検証結果の一部を紹介します。



※今後も、校内研修等講師派遣事業を活用して、本校内研修モデルによる研修を実施することができます。当センターのホームページからお申し込みください。

本校内研修モデルの詳細については、コチラをチェック♪

http://ts.edu-c.pref.aomori.jp/index.php?page_id=20



研修の企画に使える「プランシート」、
当日の説明等でそのまま使える「スライド資料」、
演習で使う「ワークシート」をダウンロードできます

発行元 青森県総合学校教育センター
〒030-0123
青森県青森市大字大矢沢字野田80-2
TEL:017-764-1993 FAX:017-764-1992



令和2年度 青森県総合学校教育センター プロジェクト研究
インクルーシブ教育システムプロジェクト
冊子『青森県の先生の「困った」を「よかった」に変える支援ヒント集
【改訂版】』を活用した校内研修モデルの開発

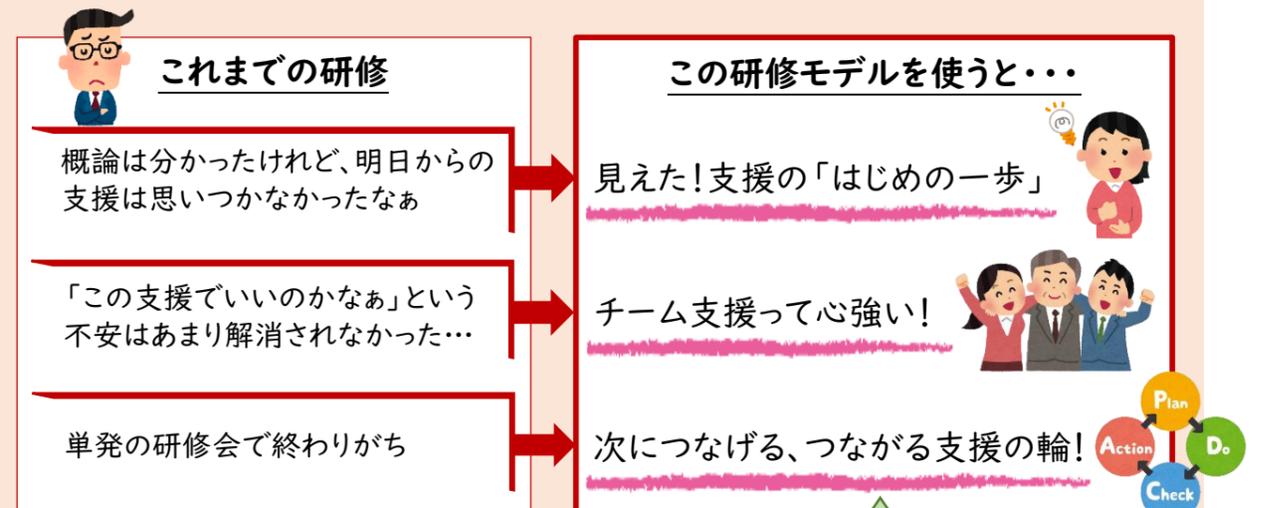
活用してみませんか？

“これから”の特別支援教育推進校内研修モデル

本プロジェクトは、平成29年度に、通常の学級の先生が抱える、特別支援教育における課題を解決するための支援のヒントをまとめた小冊子「青森県の先生の困ったをよかったに変える支援ヒント集」（以下、「支援ヒント集」）を作成し、令和元年度には事例等を追加した改訂版を作成しました。

令和2年度は、支援ヒント集を効果的に活用して、小・中学校及び高等学校における特別な教育的ニーズのある児童生徒への組織的な指導・支援につなげる校内研修モデル「これから」の特別支援教育推進校内研修モデルを開発しました。そして、小・中学校、高等学校の教員を対象にした校内研修モデルの検証活動も行い、その効果を明らかにしました。

本校内研修モデルを活用して、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「組織的・計画的・継続的」な支援をみんなで考えませんか。



※本校内研修モデルで使用する支援ヒント集は、当センターのホームページからダウンロードできます。

(校内研修モデル例)

気になる〇〇さんについてみんなで考えよう

- ▶ 小グループでの演習・協議を行う
 1. 気になる〇〇さんのよさ・強みを挙げる
 2. 〇〇さんの気になる行動や様子を挙げる
 3. 〇〇さんの気になる行動や様子の理由を考える
 4. 具体的な支援の手立てのアイデアを出し合う
- ▶ 支援のアイデアを全体で共有する



校内研修モデル「3つの活用事例」



 児童生徒の情報交換会はあるけれど、子供の実態や困った行動の共有で毎回終わっちゃう。支援策まで共有するにはどうしたらいいの？

時間がなくても全員で「気になる子供」についての情報を共有し、気になる行動の理由を考え、明日から実践できる支援の手立てを考え出すための校内研修モデルを紹介します！



校内研修モデル①
「気になる〇〇さんについてみんなで考えよう」を実施しました！

 子供の思いや困り感に寄り添って、子供の目線、立場に立って考え、支援することの大切さを感じました。また、子供自身が自分の苦手なこと、配慮してほしいことを理解し、周りに伝える力を育てることが必要だと分かりました。

子供についての情報の共有、できたこと、できていないことの確認が子供の理解や指導の明確化につながっていくと感じました。演習で、その第一歩が踏み出せたと思うので、次の一歩につなげていくことができればと思います。



 教師が集まってインクルーシブ教育システムの構築について研修する時間が少ないなあ。まだ知らないこと、分かったつもりになっていることが結構あるかも。

特別な支援を要する子供に係る1学期のアセスメントを基に、対象の子供に関わる学年を越えた教職員がチームになって2学期の支援策について検討・共有することを目的とした校内研修モデルを紹介します！

長期（1年）と中期（学期毎）と短期（普段）のPDCAサイクルをうまくつなげていく必要があるんじゃないかな？



校内研修モデル②
「学年を越えたチームで効果的な支援を考えよう」を実施しました！

言葉かけや発想の転換で子供に対しての自分の気持ちも変わるし、これまで見えていなかった子供の姿も見えてくるということに気づきました。



養護教諭として遠慮するのではなく、先生方、子供たちのためにも、情報共有を積極的にしていきたいと思いました。

 学級担任や教科担任が一人で考えても・・・、組織的な対応にしていけないと、解決につながらない気がするなあ。

自己の経験から実践して良かったことや課題等について話し合い、子供一人一人のニーズに応じた組織的な支援につなげることを目的とした校内研修モデルを紹介します！



校内研修モデル③
「組織的支援につなげよう」を実施しました！

 一人で対応するわけではなく、チームで支援することが大事だと分かりました。

課題の提出についても、職員間での情報共有などの連携が必要であると感じました。

